



物部川地域

～第1期産業振興計画（地域アクションプラン）の総括（案）～

1 各分野の取り組みの総括

農業

- 野菜・果樹・花きの各品目でまとまりを基調とした収量・品質向上や施設整備等に取り組み、JA土佐香美のニラ販売額28.4億円（目標比101%）を達成した。しかし、高齢化や大震災に伴う消費の減退等により、ほとんどの品目で販売額が減少した。
- 水稲の農作業受委託や園芸品目の導入等による「こうち型集落営農組織」が設立され（1組織）、自主的な活動ができるようになった。
- 南国市の農家レストラン「まほろば畑」が平成22年10月にオープンし、運営55回で来店者1万人を達成する人気店となった。

林業

- 森の工場の拡大が進み、平成23年度末には11,766haに達した。
- 作業道の開設や高性能林業機械の導入など、森の工場への集中投資により、素材生産の生産性が向上した。
- 園芸農家を中心に、新規に18台の木質バイオマスボイラーを導入した。
- 既存のボイラーを含み、平成23年度（農業用）は1,390tのペレット及びチップを利用した。

水産業

- 漁協が入札に参加することにより、浜値の底上げに貢献している。また、8名の加工作業従事者を雇用することにより地域の雇用確保にもつながった。

商
工
業

○「『ごめん』をブランド化」については、軽トラ市の定期的開催の定着やごめん応援隊（チームゴメンジャー）の結成、高知農業高校のアンテナショップの开店（月2回）といった前向きの動きが出てきたが、日常的なにぎわい創出には至っておらず、地元商店主等、そこに住んでいる人たちの積極的に取り組みに関わっていきこうという意識醸成が必要と考えられる。

○「香南市コミュニティガイド事業」については、香南市内の店舗を紹介するガイドブックを作成し香南市内に全戸配布したほか、おひろめ市を開催し消費者と地域商工業者の接点づくりを行った。ガイドブックは、店舗への来店契機となっていることが判明してきたが、おひろめ市の開催方法も含めて、個々の店舗を利用してもらえる仕組みづくりに取り組んでいく。

観
光

○すでに法人化して取り組みを進めていた香南市観光協会に次いで、南国市観光協会、香美市観光協会も平成24年度から事務局を行政から独立させ、観光コーディネートをを行う態勢がブロック内の各市で整った。

○3市及び観光協会を中心に平成23年1月に「物部川地域観光振興協議会」を発足させ、平成24年度から観光客の広域的な誘致や観光商品開発等が行える態勢を整備した。

2 主要な指標及び目標に対する実績値

項目	目標	実績
認定農業者数（主業農家に占める割合）	H23：65.5%	H23：55.9%
こうち型集落営農組織数	H23：1組織	H23：1組織
新規に商品化した加工食品数	H23：40品目	H23：52品目
加工原料として漁協のシイラ販売額	H23：1,500万円	H23：597.3万円
整備済「森の工場」面積	H23：8,400ha	H23：11,766ha
ペレット利用量	H23：1,230t	H23：517t
圏内主要施設訪問者数 ※県調査	H23：85万人	H23：71万人

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ①

- 産地のまとまりを基調とした生産から販売までを見通した取組
- ユズ玉出し日本一の産地機能の維持・強化

No 1 「南国市の園芸主幹品目の振興」

南国市、JA南国市、JA長岡、JA十市、
県（南国市）

No 2 「香南市・香美市の基幹園芸品目 の販売力向上対策」

No 3 「香南市・香美市の基幹園芸品目 の産地力強化」

香南市、香美市、JA土佐香美、県
（香南市・香美市）

【取組の内容】

- ◆生産上の対策、流通・販売上の対策

No 11 「生産から販売までのユズの総合 的な産地強化対策」

香美市、香美市地域雇用創造協議会、
JA土佐香美、県（香美市）



【取組の内容】

- ◆生産対策、集・出荷及び
販売体制の強化

【主な成果】

- ・ H23園芸年度販売額
⇒シトウ10.4億円(目標比78%)、ニラ4.6億
円(同115%)(以上南国市)
⇒ニラ28.4億円(同101%)、エメラルドメロン
4.4億円(同88%)(以上香南市・香美市)
- ・ 夜須のエメラルドメロンのブランド力強化
対策事業(総事業費4,023.2万円 うち産振
補助金2,553.5万円)(香南市)
⇒日射比例かん水制御システムの導入による
省力化及び品質・収量の向上
(12戸、導入面積5.06ha)
- ・ ユズ4.3億円(目標比84%)
⇒「ゆずもり」による作業受託体制の整備、樹園
地マップの作成、新包装形態の商品開発



【課題と今後の方向性】

- ・ 燃油価格の高止まり⇒増収・品質向上対策、
省エネ・コスト低減対策
- ・ 高齢化⇒新規就農者の確保・技術習得支援、
農作業受委託システムの構築

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ②

○地産地消・食育の推進

No 4 「地産地消・食育の推進」

(株)道の駅南国、南国市他 (南国市)

【取組の内容】

- ◆南国市の全小学校(13校)への給食用食材(野菜・果物)の定期的な配送体制を実現

No 5 「生産者と消費者をつなぐ場づくり ～まずは農家レストラン～」 (南国市)

【取組の内容】

- ◆「農家レストランまほろば畑」開設
(H22年10月オープン、「道の駅南国」内、
毎火曜日※、5グループの輪番制)
※ただし、道の駅直営のレストランが営業する年末年始
やゴールデンウィーク等は除く

【主な成果】

- ・学校給食への供給割合の増加

⇒H19:5.5%

→H23:14.3%

- ・農家レストランまほろば畑 平均来店者数
⇒ 187名/日(オープン～H23年度末実績)

- ・隣接直販店の売上額増加率
⇒ 122%(オープン後1年間と前年同期を比較)



【課題と今後の方向性】

- ・学校給食への食材供給体制の整備及び供給拡大
- ・業務筋(中食、外食、病院等)への食材供給体制の整備及び供給拡大
- ・農家レストランの経営安定化

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ③

○豊富な地域資源を活用した1. 5次産業化の推進



No 6 「地域の特産品づくり～農産物加工への取組～」 (南国市)

No 9 「農産物加工等への取組計画」 (香南市)

No 12 「香美市ブランドの確立・特産品づくり」 (香美市)



【取組の内容】

◆食品加工への取組みの基盤づくり 等

No 7 「『ごめんケンカシャモ』のブランド化の取組み」

ごめんシャモ研究会 (南国市)

【取組の内容】

◆南国市内でシャモ鍋等を提供する「ごめんシャモ鍋社中」(15店舗)の展開 等

No 15 「シイラの加工商材活用」

高知県漁協 (手結支所) (香南市)

【取組の内容】

◆施設整備・前処理加工の実施 等

【主な成果】

- ・新規に商品開発に取り組むなどにより市販を開始した商品数
⇒南国市:32品目 (生姜シロップ、手づくりコンフィチュール等)
香南市:10品目 (潮風バーガー、山北みかんリキュール等)
香美市:10品目 (シカドッグ、ゆずマーマレード「しおゆず」等)
- ・ごめんケンカシャモ加工品開発 (事業費215万円 うちH23ステップアップ補助金100万円)
⇒「シャモ鍋セット」完成 (H24販売開始予定)
- ・シイラ加工施設の整備 (総事業費2,254万円 うちH21産振補助金81万円) 及び衛生管理の向上
⇒漁協の入札参加による浜値の底上げ、地域雇用の確保(8名)

【課題と今後の方向性】

- ・特産品づくりに取り組む事業者の育成
- ・商品販売体制の継続
- ・原材料の安定確保、新たな販路開拓

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ④

7

○地域に育つ県産材の有効活用

No 13 「民有林における間伐の推進」

各森林組合、林業事業体他(物部川地域全域)

【取組の内容】

◆森の工場の推進、林業事業体の育成

No 14 「木質バイオマスの活用に向けての取組（需要者開発）」

香南市、香美市、南国市（物部川地域全域）

【取組の内容】

◆木質燃料の需要者開発



【主な成果】

・森の工場

⇒承認面積の拡大

(H21当初4,345ha→H22当初4,674ha
→H23当初6,495ha→H23実績11,766ha)

・農業用ボイラの導入(ペレット・チップ)

⇒H20:0台 → H21:1台 → H23:18台

・ペレット及びチップ利用量(農業用)

⇒H23実績:1,390t



【課題と今後の方向性】

- ・林業事業体の育成
- ・担い手の育成、確保
- ・排出量取引などを活用した需要者の負担軽減の仕組みづくり
- ・バイオマス燃料の安定供給に向けた仕組みづくりの検討

3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑤

○歴史と伝統ある地場産業の振興

No 18 「地場産業（土佐打刃物、フラフ）の振興」

土佐打刃物、フラフ事業者等（香美市）

【取組の内容】

- ◆技術の応用による新商品の開発
- ◆体験観光メニュー化による消費者との接点づくり等
- ◆後継者育成対応策検討会における検討



【主な成果】

- ・新商品の開発
⇒高知工科大学商品開発サークル提案による「泰山絵馬」(鉛筆削り付き絵馬)の商品化



- ・香美市内にアンテナショップが開設され、土佐打刃物の展示販売や鍛造体験を体験観光メニューとして販売していくことになった。

【課題と今後の方向性】

- ・土佐打刃物、フラフの普及及び新たな販路開拓
- ・次世代を担う人材の育成



3 地域アクションプランの主な成果と課題 ⑥

○広域連携を視野に入れた観光ネットワークづくり

- No 19 「観光交流のネットワークづくり（観光推進体制の確立強化）」（南国市）
- No 20 「歴史的資源を活用した地域活性化への取組～土佐のまほろば～」（南国市）
- No 21 「体験観光型メニューの滞在型旅行商品化アクションプラン」（香南市）
- No 22 「観光交流の受け皿づくり」（香美市）
各市の地域雇用創造〔創出推進〕協議会、観光協会他

【取組の内容】

- ◆観光コーディネート組織の確立
- ◆観光のネットワークづくり



【主な成果】

- ・南国市、香美市
⇒各市の観光協会を行政から独立させ、観光コーディネートをを行う態勢が整備された。
- ・南国市、香南市
⇒観光ガイド組織「南国市観光案内人の会」、「香南市案内人会」が発足した。
- ・南国市、香南市、香美市
⇒物部川地域観光振興協議会を設立し、広域観光の取組を実施していく態勢が整備された。

【課題と今後の方向性】

- ・広域で連携した滞在型観光メニューの開発



4 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用実績等

【活用実績】

平成21年度	2件	10,321千円	(農業1件、水産業1件)
平成22年度	1件	7,429千円	(農業1件)
平成23年度	2件	9,595千円	(農業1件、商工業1件)
計	5件	27,345千円	(農業3件、水産業1件、商工業1件)

【雇用の創出（H21～H23年度）】

	H23年度実績 (H21・22の雇用の継続分を含む)	うち産業振興推進 総合支援事業費補 助金関連
地域アクションプランに伴う雇用の増加	56人	8人

地域アクションプランにおけるふるさと雇用事業の活用人数 23人

